

令和4年度 第2学年 数学科 年間指導計画・評価計画(年間105時間)

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学を学ぶ中で数学のよさに気づき、学んだことを積極的に活用することができる。</li> <li>・多様な考え方を認め、自分の考えを深め、根拠をもって数学的に表現することができる。</li> </ul>
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 評価の観点 観点①知識・技能 観点②思考・判断・表現 観点③主体的に学習に取り組む態度 】

月	時間	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
<b>数量</b>				
4 5 6	1 6	式の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を用いた式の四則や変形に関心を持ち、活用しようとする。</li> <li>・数量の関係について、式を用いて一般的に説明することができる。</li> <li>・文字を使った表現・意味を読みとり、基本的な計算ができる。</li> <li>・文字式で表すことや式を変形して考えることの意義を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①基本問題を理解し、解くことができる。(ワーク、プリント、テスト)</li> <li>②数量関係について、式を用いて説明できる。(ワーク、プリント、テスト)</li> <li>③単項式・多項式・式の値の求め方など計算方法を考えようとしている。(授業への取り組み、ワーク、ノート、プリント、テスト)</li> </ul>
6 ◆ 7 (8) 9 ◆	1 7	連立方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連立方程式を解くための操作に関心を持ち、活用しようとする。</li> <li>・方程式を連立させることの意味等を考察することができる。また、それを利用して解くことができる。</li> <li>・代入法や加減法を用いて連立方程式を解くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①代入法や加減法を用いて連立方程式を解くことができる。(ワーク、プリント、テスト)</li> <li>②応用問題などに連立方程式を用いて、考えることができる。(ワーク、プリント、レポート、テスト)</li> <li>③連立方程式について学んだことを生かそうとしている。(授業への取り組み、ワーク、プリント、レポート、テスト)</li> </ul>
10 11 ◆ 12	1 9	1次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの数量の関数関係に関心を持ち、その特徴を調べようとする。</li> <li>・1次関数の特徴を表・式・グラフを用いて考察することができる。</li> <li>・1次関数の関係を式で表すことができ、グラフでも表現できる。</li> <li>・1次関数の変化の割合とグラフの特徴を理解している。2元1次方程式との関係を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①変化の割合や方程式とグラフの特徴を理解している。(ワーク、プリント、テスト)</li> <li>②事象に潜む関係やきまりをとらえ、順序よく筋道をたてて考えている。(授業への取り組み、ワーク、レポート、プリント、テスト)</li> <li>③1次関数の表、式、グラフを相互に関連付けようとしている。(授業への取り組み、ワーク、プリント、テスト)</li> </ul>
1 2 ◆	8	データの活用 ★	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四分位数および四分位範囲、箱ひげ図の必要性和意味を理解している。</li> <li>・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し、箱ひげ図で表すことができる。</li> <li>・データの分布の傾向を読み取り、考察して判断できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①四分位数・四分位範囲・箱ひげ図の必要性和意味を理解している。(ワーク、プリント、テスト)</li> <li>②箱ひげ図とヒストグラムとの関係を考察し、説明することができる。(授業での取り組み、レポート、ワーク、テスト)</li> <li>③データの活用で学んだことを生かそうとしている。(授業への取り組み、ワーク、プリント、テスト)</li> </ul>
3	7	確率 ◇	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な事象で確率が使われていることに興味を持ち、活用しようとする。</li> <li>・起こりうる場合を順序よく整理するなどして、事象を数理的にとらえ、論理的に考察することができる。</li> <li>・樹形図や表などを用いて簡単な確率を求めることができる。</li> <li>・樹形図や表を使うことの意義や確率の意味を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①確率の必要性和意味を理解している。(授業への取り組み、ワーク、プリント、テスト)</li> <li>②同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し、説明することができる。(授業への取り組み、ワーク、プリント、テスト)</li> <li>③問題の条件を変えたときの影響などを考察し、新しい問題を見いだそうとしている。(授業への取り組み、ワーク、プリント、テスト)</li> </ul>
<b>図形</b>				
4 5 6 ◆ 7 (8)	1 8	図形の性質と合同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の様々な性質を理解し、証明の意義と方法を理解している。</li> <li>・図形の基本的性質を問題の解決に対して意欲的に活用しようとする。</li> <li>・仮定や定理を根拠にして結論を導くことができる。既習の図形の性質を用いて証明を表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①簡単な図形の性質について理解し、証明を適切に行うことができる。(ノート、プリント、ワーク、テスト)</li> <li>②適切な定理・理論に基づいて図形の性質の証明方法を考察することができる。(ノート、プリント、ワーク、テスト)</li> <li>③証明の必要性和意味を考え、根拠を明らかにして証明</li> </ul>

9 ◆			現することができる。	しようとしている。(授業への取り組み、プリント、ワーク、テスト)
10 11 ◆ 12 1 2 ◆ 3	2 0	<b>三角形と四角形</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二等辺三角形・正三角形・直角三角形の性質や条件を論理的に考察し、証明することができる。</li> <li>平行四辺形、長方形、ひし形、正方形の間の関係を理解している。</li> <li>逆や反例の意味を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①証明の必要性と意味を理解している。また、証明すべきことと図形の性質や条件を区別することができる。(プリント、ワーク、テスト)</li> <li>②特別な三角形や四角形の間を論理的に考察し、まとめることができる。(プリント、ワーク、テスト)</li> <li>③三角形と四角形について学んだことを生かそうとしている。(授業への取り組み、プリント、ワーク、テスト)</li> </ul>

◆定期考査 ◇道徳 ★オリパラ教育 ☆人権教育

### 評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な概念や原理・法則などを理解している。</li> <li>事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の性質や計算についてや、数量の関係や法則などを考察する力</li> <li>図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力</li> <li>関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力</li> <li>複数の集団のデータの活用に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考える</li> <li>数学を生活や学習に生かし、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする</li> <li>多様な考えを認め、よりよく問題解決している。</li> </ul>
評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組み</li> <li>提出物(ノート、ワーク、プリント、レポート)</li> <li>小テスト、定期テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組み</li> <li>提出物(ノート、ワーク、プリント、レポート)</li> <li>小テスト、定期テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組み</li> <li>自己評価表</li> <li>提出物(ノート、ワーク、プリント、テスト直し)</li> <li>小テスト、定期テスト</li> </ul>

### 学習のアドバイス

#### (1)授業態度

- 積極的に発言する、周りと相談するなど、進んで授業に参加する。
- 分からないところは自ら先生やクラスメイトに質問したり、調べたりする。
- 集中して授業に臨み、先生の話やクラスメイトの意見から学ぼうとする。
- 授業を受ける姿勢、忘れ物をなくすこと、提出物などを意識して授業を受ける。
- ほかの人の意見を聞くときは、自分の意見と比べながらしっかりと聞こう。
- ノートには、先生の説明や仲間の発言、自分の考えを書き加えるなどくふうして作る。
- 話を聞くとときと問題に取り組むときのメリハリをつける。

#### (2)提出物

- ノートは見直しやすいように書く。プリントはもらったらすぐに貼る。
- ワークは早めに取り組み、丸付けを丁寧に行う。必要であれば途中式も書く。(○つけは1問ずつ確認しながらする。)
- ノート、ワーク、テスト直しは必ず提出日までに提出できるよう、計画的に進める。

#### (3)単元ごとのふりかえり

- 自己評価表を活用し、自分の課題を把握して、それを改善しようとする。
- 数学は積み重ねで、次につながっていくので、分からないことはそのままにしない。